

人権作文 出会い

日野中学校3年 西村美香

私には、今すごく不安な事があります。それは、今現在の事ではなくて将来の事です。私が住んでいる所は、のどかで近所付き合いもよく、みんなが仲良くとても良い所です。でも、ここは昔から差別されている地域です。ここは被差別部落です。私は、こんなに良い所がなぜ差別されてきているのか分かりません。

最初に言った、私が将来不安な事とは、結婚差別です。もう来年になれば十六才。結婚ができる年になるのです。今までに私は、いろいろな人に結婚差別の話を聞いてきました。小さいころは、実感がなかったけれども今はすごく気になって不安です。被差別部落だから、と、将来結婚できなかつたらどうしよう。私が好きになつた人に、被差別部落出身だからと結婚できなくなつたら、私は考えただけでも辛くなります。被差別部落の人が何をしたのでしよう。個人的なうらみなどがあるわけではない。なのになんで、とすごく腹が立ちます。それに、不安でいっぱいです。

私自身も不安だし、何より家族を見てみるとよく不安になることがあります。私には兄が二人います。一番上は、よく家に彼女をつれて帰ってきます。仲の良さそうな姿も見

し、私も仲良くさせてもらっています。そんな楽しい時間をすごしている時に、ふっと思うことがあります。それは、ここが被差別部落だと知っているのかな？まだ知らなかったとしたら、聞いた時どうなるのかな？相手の親の方はなんて言うのかな？結婚ともなると反対されて別れちゃったりするのかな？と、あげるといっぱいあるけど、こんなに沢山の事が頭をよぎるのです。もし、そんな風になつたら、お兄ちゃんどうするんだろう。って、すごく不安になります。二番目の兄は、今、就職して横浜にいます。このあいだ「オレ新しい彼女できたよ。東京の子」

と、わざわざ幸せそうなメールを送ってきました。私は、うらやましいなー、と思いつつ、お兄ちゃんに彼女ができることは私にとって嬉しいことでした。けれどもそんな時に、東京の子は人権学習をしているのかな？部落差別について知っているのかな？もし、お兄ちゃんが被差別部落出身者って分かつたら、彼女はとうするのかな？お兄ちゃんも被差別部落出身だ、と言つたのかな？またそんな事がいっぱい頭を駆けめぐりました。

でも、なんでこんなに不安になら

なきやいけないだろう。まわりの学校のみんなは、そんな不安もなく将来を夢見ているんだろうな。とうらやましい気持ちになります。でも私は、この地区に生まれた事に誇りを持っています。

昔、この地域の人々は差別から立ち上がり、今の私たちのために暮らしやすい場所にしてくれたからです。だから、私は差別に負けたくはありません。

これから先、私は「出会い」を大切にしていきたいです。今まで人権学習してきた事を糧に、差別と向き合つて将来を歩んでいきます。だから、私の考えを理解してくれるのは勿論ですが、共に差別に立ち向かえたり、互いに支え合える人と出会うのが目標です。その人との出会いは、結婚差別された時に必ず私の力になつてくれると思います。

だから、この出会いをするために私は自分自身の考えをしっかりと見つただけでなく、人の考えを知る事でもっと自分の考えを深めていきたいです。そして、自分の思いをうまく伝えられるようになりたいです。

この作文は、「平成20年度全国中学生人権作文コンテスト鳥取県大会」で、奨励賞に選ばれた作品です。

編・集・後・記

人権啓発講演会での山田修平さんの言葉の中で、一番皆さんの心に残ったのが「心のコップ」だと思います。相手を思いやるには、まず、相手を知ること。相手を知るためには、自分の心を広く持つことだと繰り返し訴える山田さんの言葉に、胸を打たれた人も多いのではないのでしょうか。みんなの心の中に、上向きの大きなコップがいつもあるような社会であってほしいと願っています。

人権のまちひの

2009年3月19日発行

発行：日野町人権・同和教育推進協議会

編集：日野町人権・同和教育推進協議会
広報部会

印刷：富士印刷有限会社

黄砂と健康被害

日野病院、鳥取大学乾燥地研究センター 大谷 眞一しんじ

発生頻度・規模が増大

黄砂は、中央・東アジア内陸部の乾燥地域で上空に巻き上げられた土壌・鉱物粒子が偏西風に乗って東アジアの広範囲に飛来し、大気中に浮遊あるいは降下する現象です。近年、その発生頻度や規模が増大しており、中国では農業生産や生活環境にしばしば重大な被害を与えています。黄砂は、単なる季節的な気象現象から、土地の劣化・砂漠化といった人為的影響による環境問題として認識されるようになってきました。

人体への影響も

黄砂の粒子には石英、長石、

雲母などの鉱物が多く含まれています。土壌由来ではないアンモニウムイオン、硫酸イオン、硝酸イオンなども検出され、飛来する途中で大気汚染物質を取り込んでいる可能性が指摘されています。

また、カビや細菌など生物起原の物質の付着の可能性も考えられており、少量の黄砂でも人体への影響が懸念されます。

韓国や台湾では、心肺疾患患者の症状が悪化するという報告もあり、最近になって、国内でも黄砂と疾病に関する調査が行われるようになってきました。

今のところ、わが国では黄砂による重大な健康被害は報告されていませんが、継続的・

横断的な調査が必要です。

今後の研究に期待

鳥取大学乾燥地研究センターおよび医学部では、国内と並行して黄砂の発生源であるモンゴルや中国において、気象・土壌・住民の健康調査を行い、発生過程から環境、社会、健康への影響など包括的な黄砂研究に取り組んでいます。

国境を超えた問題であるだけに今後の成果が期待されています。



広大なモンゴルの平原

教育委員会からのお知らせ

規則、委員委嘱などについて審議

3月4日に、第3回町教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

議案 日野町立小・中学校管理規則の一部改正について
小中学校の夏季休業日(夏休み)の終わりを、8月31日から、8月24日に改正するものです。学習指導要領の改訂により、児童生徒の授業時間を確保します。

議案 日野町立学校学 校薬剤師の委嘱について
根雨小学校の、松浦明美 学校薬剤師の辞職に伴い、4月から、眞壁寿広薬剤師に委嘱するものです。

議案 日野町文化財保護審議会委員の委嘱について
3月31日で任期満了とな
る標記の委員を、平成23年3月31日まで再任することとしました。

議案 日野町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正の申出について
人権教育推進員、生活相談員の報酬月額の見直しについて、条例の一部改正を町長に申し出るものです。

健闘を祈ります
小中学生、ソフトテニス大会に出場(敬称略)
第20回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会(三重県)

出場 後藤直哉(日野中)、吉原毅(日野中)
第8回全国小学生ソフトテニス大会(千葉県)
出場 山本龍星(根雨小)、西村匠平(黒坂小)、
松本美季(根雨小)、山本沙里菜(根雨小)、
小川晴生(根雨小)、名越廉(多里小)